

「令和 8 年度学術講演会およびネパール災害調査報告会」開催ご案内

主催：（公社）地盤工学会四国支部

愛媛県地盤工学研究会

共催：愛媛大学防災情報研究センター

近年、気候変動に伴う短時間強雨や長期化する豪雨が世界各地で顕著となり、洪水・浸水と土砂災害が連鎖する複合災害が頻発しています。2025 年 11 月には、サイクロン「ディトワ」による記録的豪雨がスリランカ各地で大規模な洪水と土砂災害を引き起こしました。中部の山岳地域を含む広範囲で、人的被害に加え、住宅・道路・橋梁などの甚大なインフラ被害も発生しました。

また、2026 年 8 月、ネパール・中国国境付近のヒマラヤ山岳域で、氷河に覆われた巨大な岩盤斜面の崩落を起因とする大規模な土石流・洪水が発生し、ボテコシ川・トリシュリ川流域では、集落、道路、橋梁、水力発電施設などに甚大な被害をもたらしました。

豪雨の激甚化に加え、雪氷圏の変化、急峻な地形、河川沿いに集中する土地利用やインフラが、災害リスクを高めています。そこで、今後の防災・減災と地域の強靱化を考えるうえで、現地調査に基づいて被害の実態を把握し、教訓を共有することは極めて重要であります。

愛媛大学防災情報研究センターでは、センター長を含む 2 名の研究者が、災害発生から約 1 か月後に被災地を調査しました。本学術講演・報告会では、2025 年のスリランカ豪雨・土砂災害と、2026 年のネパール大規模土石流・洪水災害を取り上げ、発生要因、被害の特徴、今後の課題について報告します。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時	令和 8 年 10 月 16 日（金） 16：00～17：30
場 所	愛媛大学総合情報メディアセンター 1 階メディアホール
参加費	無料
G-CPD ポイント	1.0

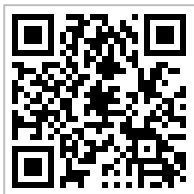
【プログラム】

- | | |
|-------------|--|
| 15：40～ | 受付開始 |
| 16：00～16：05 | 開会あいさつ
地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学研究会 会長 バンダリ ネットラ・プラカシュ |
| 16：05～16：45 | 学術講演「2025 年 11 月スリランカ中部豪雨災害について」
スリランカ国立ペラデニヤ大学 Edirisinghe Jayalath 先生 |
| 16：45～16：55 | 質疑応答 |
| 16：55～17：15 | 災害調査報告「2026 年 8 月ネパール大規模土石流・洪水災害被災地調査報告」
愛媛大学大学院理工学研究科（防災情報研究センター）教授 バンダリ ネットラ P. |
| 17：15～17：25 | 質疑応答 |
| 17：25～17：30 | 閉会あいさつ
愛媛大学防災情報研究センター センター長 木下 尚樹 |

【申込方法】

下記フォームよりお申し込みください。（締切 令和8年10月15日（木））

<https://forms.gle/7xVJ8imW2VWdx87i7>



お問い合わせ先：地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学研究会 陣内

TEL：089-927-9820

E-mail：jinnouchi.naoko.nx@ehime-u.ac.jp